

# 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ファンケル

コード番号 4921 URL <http://www.fancl.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 成松 義文

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理ユニット長

(氏名) 江上 克彦

TEL 045-226-1200

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	76,662	1.9	6,712	37.8	6,760	33.8	3,064	28.6
21年3月期第3四半期	75,217	—	4,869	—	5,050	—	2,384	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	49.03	48.93
21年3月期第3四半期	38.91	38.82

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	101,358	76,771	74.9	1,169.14
21年3月期	85,309	71,242	83.0	1,155.74

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 75,889百万円 21年3月期 70,823百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
22年3月期	—	17.00	—		
22年3月期 (予想)				17.00	34.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,100	7.2	8,500	27.5	8,500	22.5	3,400	27.7	53.88

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 —社 (社名) 除外 —社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	65,176,600株	21年3月期	65,176,600株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	266,453株	21年3月期	3,896,949株
-----------	-------------	----------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	62,505,721株	21年3月期第3四半期	61,273,503株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。次期の見通しについては、6ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、緊急経済対策の実施や新興国を中心とした海外経済の持ち直しにより生産・輸出などが回復したものの、雇用・所得環境は依然厳しく、全体としては緩やかな回復にとどまりました。

このような状況の下、化粧品業界は百貨店での販売不振などにより、全体としては厳しい状況にあります。また、健康食品業界は下降トレンドからは脱したものの、調整局面が継続し、企業間格差はますます顕著になっております。

当第3四半期連結会計期間の売上高は、香港・中国の販売代理店をグループ会社化したことにより化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業ともに増収となり、28,978百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。損益面では、香港・中国の販売代理店のグループ会社化に加え、高収益体質の実現に向け、物流、生産、本社コストを中心に効率化を図り、営業利益は3,585百万円（前年同四半期比88.7%増）、売上高営業利益率は前年同四半期に比べ5.3ポイント改善の12.4%となり、経常利益は3,657百万円（前年同四半期比90.9%増）、売上高経常利益率は前年同四半期に比べ5.4ポイント改善の12.6%となりました。

四半期純利益は1,522百万円（前年同四半期比46.6%増）、売上高四半期純利益率は前年同四半期に比べ1.4ポイント改善の5.3%となりました。

平成22年3月期第1四半期および第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成22年3月期第1四半期決算短信（平成21年7月30日開示）および第2四半期決算短信（平成21年11月9日開示）をご参照ください。

なお、香港・中国の販売代理店をグループ会社化したことに伴い、平成22年3月期第3四半期連結会計期間から化粧品関連事業および栄養補助食品関連事業の販売チャネル別売上高の表示区分を変更し、それに伴い前第3四半期連結会計期間についても当第3四半期連結会計期間と比較できるように同じ基準にて作成しております。「卸販売他」は国内の卸販売等の売上高、「海外」は海外向け卸販売および店舗販売の売上高を計上しております。

## (1) 化粧品関連事業

## 売上高

化粧品関連事業の売上高は15,228百万円（前年同四半期比14.7%増）となりました。

	平成21年3月期 第3四半期連結会計期間		平成22年3月期 第3四半期連結会計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	10,155	76.5	12,297	80.7	21.1
アテニア化粧品	2,659	20.0	2,491	16.4	△6.3
その他	467	3.5	440	2.9	△5.8
合計	13,282	100.0	15,228	100.0	14.7

	平成21年3月期 第3四半期連結会計期間		平成22年3月期 第3四半期連結会計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	7,121	53.6	7,020	46.1	△1.4
店舗販売	4,413	33.2	4,159	27.3	△5.7
卸販売他	742	5.6	707	4.7	△4.7
海外	1,004	7.6	3,340	21.9	232.6
合計	13,282	100.0	15,228	100.0	14.7

ファンケル化粧品は、「マイルドクレンジングオイル」の限定デザインボトルが好調に推移したほか、香港・中国の販売代理店のグループ会社化が寄与し、12,297百万円（前年同四半期比21.1%増）と大幅に伸長しました。

アテナ化粧品は、ウィンターキャンペーン等を実施したもののお客様数の減少が響き、2,491百万円（前年同四半期比6.3%減）となりました。

販売チャネル別では、通信販売は7,020百万円（前年同四半期比1.4%減）、店舗販売は4,159百万円（前年同四半期比5.7%減）、卸販売他は707百万円（前年同四半期比4.7%減）、海外は香港・中国の販売代理店をグループ会社化したことにより3,340百万円（前年同四半期比232.6%増）となりました。

#### 営業損益

損益面では、マーケティング費用の効率化や香港・中国の販売代理店のグループ会社化が大きく寄与し、営業利益は3,088百万円（前年同四半期比64.4%増）、売上高営業利益率は前年同四半期に比べ6.2ポイント改善し20.3%となりました。

#### (2) 栄養補助食品関連事業

##### 売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は8,320百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

	平成21年3月期 第3四半期連結会計期間		平成22年3月期 第3四半期連結会計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	3,620	45.1	3,339	40.1	△7.8
店舗販売	2,109	26.3	1,906	22.9	△9.6
卸販売他	1,654	20.6	1,503	18.1	△9.1
海外	636	8.0	1,571	18.9	146.8
合計	8,019	100.0	8,320	100.0	3.7

製品面では、ビタミン、ミネラルなどの製品群が不調だったものの、中高年のお客様向けサプリメントや海外を中心にビューティサプリメントが好調に推移し増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は3,339百万円（前年同四半期比7.8%減）、店舗販売は1,906百万円（前年同四半期比9.6%減）、卸販売他は1,503百万円（前年同四半期比9.1%減）、海外は香港・中国の販売代理店をグループ会社化したことにより1,571百万円（前年同四半期比146.8%増）となりました。

## 営業損益

損益面では、マーケティング費用の効率化を進めたほか、香港・中国の販売代理店のグループ会社化が寄与し、営業利益は792百万円（前年同四半期比46.1%増）、売上高営業利益率は前年同四半期に比べ2.7ポイント改善し9.5%となりました。

## (3) その他事業

## 売上高

その他事業の売上高は5,429百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

	平成21年3月期 第3四半期連結会計期間 (百万円)	平成22年3月期 第3四半期連結会計期間 (百万円)	伸び率 (%)
発芽米事業	941	863	△8.3
青汁事業	921	989	7.4
いいもの王国通販事業	2,540	2,348	△7.6
その他の事業	929	1,227	32.1
合計	5,333	5,429	1.8

**発芽米事業**は、新米キャンペーンの実施や「発芽米スープごはん」の発売など積極的な拡販に努めたものの、コンビニエンスストア向けなど業務用の低迷が続き、売上高は863百万円（前年同四半期比8.3%減）となりました。

**青汁事業**は、「ケールまるごと搾り」など粉末タイプが好調に推移し989百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。

**いいもの王国通販事業**は、暖冬による季節商材の販売不振などで2,348百万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。

**その他の事業**は、エステ事業を展開する株式会社ノイエスのグループ会社化などにより1,227百万円（前年同四半期比32.1%増）となりました。

## 営業損益

損益面では、発芽米工場の集約化など運営コストの低減に取り組んだ結果、営業利益は16百万円（前年同四半期は118百万円の営業損失）と四半期ベースでは平成19年3月期第3四半期以来の黒字に転換し、売上高営業利益率は0.3%となりました。

(ご参考：国内業態別店舗数)

	平成21年12月末	平成21年9月末比
ファンケル銀座スクエア	1	—
ファンケルショップ	19	—
ファンケルハウス	87	△ 1
ファンケルハウスJ	67	△ 1
元気ステーション	5	—
アテナショップ	13	—
その他	3	—
合計	195	△ 2

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前連結会計年度末に比べて16,049百万円増加し、101,358百万円となりました。この要因は、流動資産の増加6,488百万円および固定資産の増加9,560百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、連結子会社の増加に伴い現金及び預金が10,179百万円増加したためであります。固定資産の増加の主な要因は、企業結合に伴いのれんが発生したことによる無形固定資産の増加9,000百万円、投資その他の資産の増加523百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて10,520百万円増加し、24,586百万円となりました。この要因は、流動負債の増加10,514百万円および固定負債の増加5百万円であります。流動負債の増加の主な要因は、連結子会社の増加に伴い短期借入金2,498百万円、売上代金にかかる前受金が1,119百万円、少数株主に対する未払配当金の計上により未払配当金が5,376百万円それぞれ増加したためであります。固定負債の増加の主な要因は、退職給付引当金の増加81百万円と、親会社の役員退職慰労金の支給による固定負債のその他の減少であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて5,528百万円増加し、76,771百万円となりました。この主な要因は、自己株式の売却4,623百万円、四半期純利益3,064百万円の計上による増加と、配当金の支払額2,084百万円による減少であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して8.1ポイント低下し74.9%となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は32,894百万円となり、前連結会計年度末より6,161百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は7,274百万円(前年同四半期連結累計期間は3,347百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益6,674百万円、減価償却費2,365百万円、のれん償却額529百万円による増加と、賞与引当金の減少547百万円、法人税等の支払額3,065百万円による減少であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,783百万円(前年同四半期連結累計期間は3,326百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、定期預金の払戻による収入1,500百万円、有形固定資産の取得による支出985百万円、無形固定資産の取得による支出482百万円、関係会社株式の取得による支出529百万円および連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,210百万円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は469百万円(前年同四半期連結累計期間は1,812百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、自己株式の処分による収入4,140百万円、配当金の支払額2,054百万円、少数株主への配当金の支払額1,159百万円であります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては概ね計画通り推移しており、現時点では前回発表(平成21年11月9日)の業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

前第3四半期連結累計期間において、特別損失の「固定資産売却損」、「固定資産除却損」および「その他」に含めていた「店舗閉鎖損失」は、金額的に重要性が増したことから、当第3四半期連結累計期間では区分掲記しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「店舗閉鎖損失」は136百万円であり、その内訳は「固定資産売却損」3百万円、「固定資産除却損」95百万円、「その他」37百万円であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,389	16,209
受取手形及び売掛金	9,444	9,967
有価証券	9,003	13,520
商品及び製品	4,163	3,060
仕掛品	24	68
原材料及び貯蔵品	3,006	3,041
その他	2,741	2,418
貸倒引当金	△156	△157
流動資産合計	54,617	48,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,483	21,650
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,684	△10,832
建物及び構築物(純額)	10,799	10,817
機械装置及び運搬具	5,588	5,385
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,385	△4,018
機械装置及び運搬具(純額)	1,203	1,366
工具、器具及び備品	7,279	5,961
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,028	△4,899
工具、器具及び備品(純額)	1,250	1,061
土地	10,971	10,971
リース資産	263	194
減価償却累計額及び減損損失累計額	△81	△33
リース資産(純額)	181	160
その他	60	51
有形固定資産合計	24,467	24,430
無形固定資産		
のれん	10,306	898
その他	2,667	3,075
無形固定資産合計	12,973	3,973
投資その他の資産	9,300	8,777
固定資産合計	46,741	37,181
資産合計	101,358	85,309



(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,907	3,206
短期借入金	2,498	—
未払法人税等	1,792	1,477
賞与引当金	641	1,021
ポイント引当金	1,468	1,353
その他	11,665	4,400
流動負債合計	21,973	11,459
固定負債		
退職給付引当金	1,900	1,818
役員退職慰労引当金	71	60
その他	641	728
固定負債合計	2,612	2,607
負債合計	24,586	14,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	53,821	53,288
自己株式	△339	△4,960
株主資本合計	75,983	70,828
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3	△0
為替換算調整勘定	△97	△4
評価・換算差額等合計	△94	△5
新株予約権	343	310
少数株主持分	539	109
純資産合計	76,771	71,242
負債純資産合計	101,358	85,309

(2) 四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	75,217	76,662
売上原価	24,894	25,489
売上総利益	50,322	51,172
販売費及び一般管理費	45,453	44,460
営業利益	4,869	6,712
営業外収益		
受取利息	120	71
受取配当金	13	13
雑収入	164	191
営業外収益合計	298	277
営業外費用		
支払利息	0	8
為替差損	50	83
貸倒引当金繰入額	—	80
雑損失	66	55
営業外費用合計	116	229
経常利益	5,050	6,760
特別利益		
固定資産売却益	31	0
投資有価証券売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	36	1
償却債権取立益	10	—
その他	23	0
特別利益合計	101	2
特別損失		
固定資産売却損	49	2
固定資産除却損	155	18
減損損失	178	14
店舗閉鎖損失	—	32
その他	255	21
特別損失合計	638	88
税金等調整前四半期純利益	4,513	6,674
法人税、住民税及び事業税	1,741	2,957
法人税等調整額	378	△60
法人税等合計	2,119	2,896
少数株主利益	10	712
四半期純利益	2,384	3,064

## 第3四半期連結会計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	26,635	28,978
売上原価	9,029	8,786
売上総利益	17,606	20,192
販売費及び一般管理費	15,705	16,606
営業利益	1,900	3,585
営業外収益		
受取利息	33	23
受取配当金	0	1
雑収入	46	106
営業外収益合計	81	132
営業外費用		
支払利息	—	4
為替差損	39	35
貸倒引当金繰入額	—	5
雑損失	25	16
営業外費用合計	65	60
経常利益	1,916	3,657
特別利益		
固定資産売却益	21	0
貸倒引当金戻入額	36	0
その他	△0	—
特別利益合計	56	0
特別損失		
固定資産売却損	35	—
固定資産除却損	82	5
店舗閉鎖損失	—	10
その他	204	14
特別損失合計	323	30
税金等調整前四半期純利益	1,649	3,628
法人税、住民税及び事業税	318	1,294
法人税等調整額	291	102
法人税等合計	610	1,396
少数株主利益	1	709
四半期純利益	1,038	1,522

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,513	6,674
減価償却費	2,319	2,365
減損損失	178	14
株式報酬費用	87	54
のれん償却額	111	529
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△69	90
賞与引当金の増減額(△は減少)	△502	△547
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△34	37
退職給付引当金の増減額(△は減少)	120	81
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11	11
受取利息及び受取配当金	△133	△85
支払利息	0	8
為替差損益(△は益)	30	△72
投資有価証券評価損益(△は益)	95	6
関係会社株式評価損	59	—
固定資産売却損益(△は益)	17	1
固定資産除却損	155	18
売上債権の増減額(△は増加)	△891	△367
たな卸資産の増減額(△は増加)	300	△56
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△223	△4
仕入債務の増減額(△は減少)	471	1,095
その他の流動負債の増減額(△は減少)	81	504
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△247	△98
その他	80	24
小計	6,532	10,288
利息及び配当金の受取額	107	59
利息の支払額	△0	△8
その他の収入	0	—
法人税等の支払額	△3,293	△3,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,347	7,274

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,000	—
定期預金の払戻による収入	1,000	1,500
有価証券の取得による支出	△7,983	△4,496
有価証券の売却及び償還による収入	7,997	4,997
有形固定資産の取得による支出	△1,539	△985
有形固定資産の売却による収入	203	28
無形固定資産の取得による支出	△798	△482
投資有価証券の取得による支出	—	△1,014
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	506
関係会社株式の取得による支出	△36	△529
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,210
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	178
営業譲受による支出	△1,315	—
貸付けによる支出	△30	△161
貸付金の回収による収入	13	37
その他の支出	△81	△265
その他の収入	260	113
その他	△17	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,326	△1,783
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	408
短期借入金の返済による支出	—	△473
長期借入金の返済による支出	△48	△155
社債の償還による支出	—	△180
自己株式の処分による収入	3	4,140
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△1,753	△2,054
少数株主への配当金の支払額	—	△1,159
その他	△12	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,812	469
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	200
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,809	6,161
現金及び現金同等物の期首残高	24,060	26,732
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,251	32,894

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	化粧品 関連事業 (百万円)	栄養補助食品 関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	13,282	8,019	5,333	26,635	—	26,635
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,282	8,019	5,333	26,635	—	26,635
営業利益又は営業損失(△)	1,879	542	△118	2,303	(403)	1,900

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2 各事業の主な製品

- (1) 化粧品関連事業……………各種化粧品の通信販売・店舗販売・卸販売
- (2) 栄養補助食品関連事業…各種栄養補助食品の通信販売・店舗販売・卸販売
- (3) その他事業……………雑貨・装身具類・肌着類・健康器具・家庭用雑貨の通信販売、発芽米事業、青汁事業他

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	化粧品 関連事業 (百万円)	栄養補助食品 関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	15,228	8,320	5,429	28,978	—	28,978
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,228	8,320	5,429	28,978	—	28,978
営業利益	3,088	792	16	3,897	(312)	3,585

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2 各事業の主な製品

- (1) 化粧品関連事業……………各種化粧品の通信販売・店舗販売・卸販売
- (2) 栄養補助食品関連事業…各種栄養補助食品の通信販売・店舗販売・卸販売
- (3) その他事業……………雑貨・装身具類・肌着類・健康器具・家庭用雑貨の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業他

## 前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	化粧品 関連事業 (百万円)	栄養補助食品 関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	38,091	22,511	14,614	75,217	—	75,217
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	38,091	22,511	14,614	75,217	—	75,217
営業利益又は営業損失(△)	4,909	2,224	△654	6,478	(1,609)	4,869

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2 各事業の主な製品

- (1) 化粧品関連事業……………各種化粧品の通信販売・店舗販売・卸販売  
(2) 栄養補助食品関連事業…各種栄養補助食品の通信販売・店舗販売・卸販売  
(3) その他事業……………雑貨・装身具類・肌着類・健康器具・家庭用雑貨の通信販売、発芽米事業、青汁事業他

## 3 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。

上記の会計基準の適用に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益は化粧品関連事業103百万円、栄養補助食品関連事業106百万円、その他事業27百万円それぞれ減少しております。

## 当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	化粧品 関連事業 (百万円)	栄養補助食品 関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	40,140	21,848	14,672	76,662	—	76,662
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	40,140	21,848	14,672	76,662	—	76,662
営業利益又は営業損失(△)	6,159	2,128	△381	7,907	(1,195)	6,712

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2 各事業の主な製品

- (1) 化粧品関連事業……………各種化粧品の通信販売・店舗販売・卸販売  
(2) 栄養補助食品関連事業…各種栄養補助食品の通信販売・店舗販売・卸販売  
(3) その他事業……………雑貨・装身具類・肌着類・健康器具・家庭用雑貨の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業他

## 3 セグメント別資産の著しい金額の変動

当第2四半期連結会計期間においてFantastic Natural Cosmetics Limited およびその連結子会社1社ならびにFantastic Natural Cosmetics (China) Limited およびその連結子会社2社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度末に比べて資産が著しく増加しております。その主な要因はのれんであり、化粧品関連事業6,376百万円、栄養補助食品関連事業3,164百万円、その他事業12百万円それぞれ増加しております。

## b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	24,054	4,924	28,978	—	28,978
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,857	—	1,857	(1,857)	—
計	25,911	4,924	30,836	(1,857)	28,978
営業利益	3,044	828	3,872	(286)	3,585

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 本邦以外の区分に属する主な国または地域  
 アジア……………中国(香港含む)、シンガポール  
 3 従来、本邦の売上高が全セグメントの売上高合計額に対し90%を超えていたため、所在地別セグメント情報の記載を省略しておりました。しかし、当第2四半期連結会計期間末に連結範囲に含めた在外子会社の業績が当第3四半期連結会計期間より含まれたことにより、本邦以外のセグメントの重要性が高まったため、所在地別セグメント情報を開示しております。

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	68,242	8,419	76,662	—	76,662
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,574	—	4,574	(4,574)	—
計	72,816	8,419	81,236	(4,574)	76,662
営業利益	6,289	1,115	7,404	(692)	6,712

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 本邦以外の区分に属する主な国または地域  
 アジア……………中国(香港含む)、シンガポール  
 3 従来、本邦の売上高が全セグメントの売上高合計額に対し90%を超えていたため、所在地別セグメント情報の記載を省略しておりました。しかし、当第2四半期連結累計期間末に連結範囲に含めた在外子会社の業績が当第3四半期連結累計期間より含まれたことにより、本邦以外のセグメントの重要性が高まったため、所在地別セグメント情報を開示しております。



## c. 海外売上高

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,913	11	4,924
II 連結売上高(百万円)	—	—	28,978
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	17.0	0.0	17.0

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) アジア……………中国(香港含む)、シンガポール、台湾

(2) その他の地域……………米国

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

4 従来、海外売上高は連結売上高の10%未満であったため記載を省略しておりましたが、当第3四半期連結会計期間より重要性が増したため、海外売上高を開示しております。

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	8,327	92	8,419
II 連結売上高(百万円)	—	—	76,662
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.9	0.1	11.0

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) アジア……………中国(香港含む)、シンガポール、台湾

(2) その他の地域……………米国

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

4 従来、海外売上高は連結売上高の10%未満であったため記載を省略しておりましたが、当第3四半期連結累計期間より重要性が増したため、海外売上高を開示しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年10月1日付でCMC Holdings Limitedに自己株式の売却を行っております。この結果、自己株式4,582百万円および利益剰余金442百万円がそれぞれ減少し、当第3四半期連結会計期間末においては自己株式が339百万円となっております。